

# 令和8年度 危険物取扱者試験 試験案内

お申込みは、**電子申請(インターネット申込み)**  
をぜひご利用ください。



消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により富山県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

試験案内は最後までよく読んで、記載されている内容に同意した上でお申し込みください。  
申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなさせていただきます。

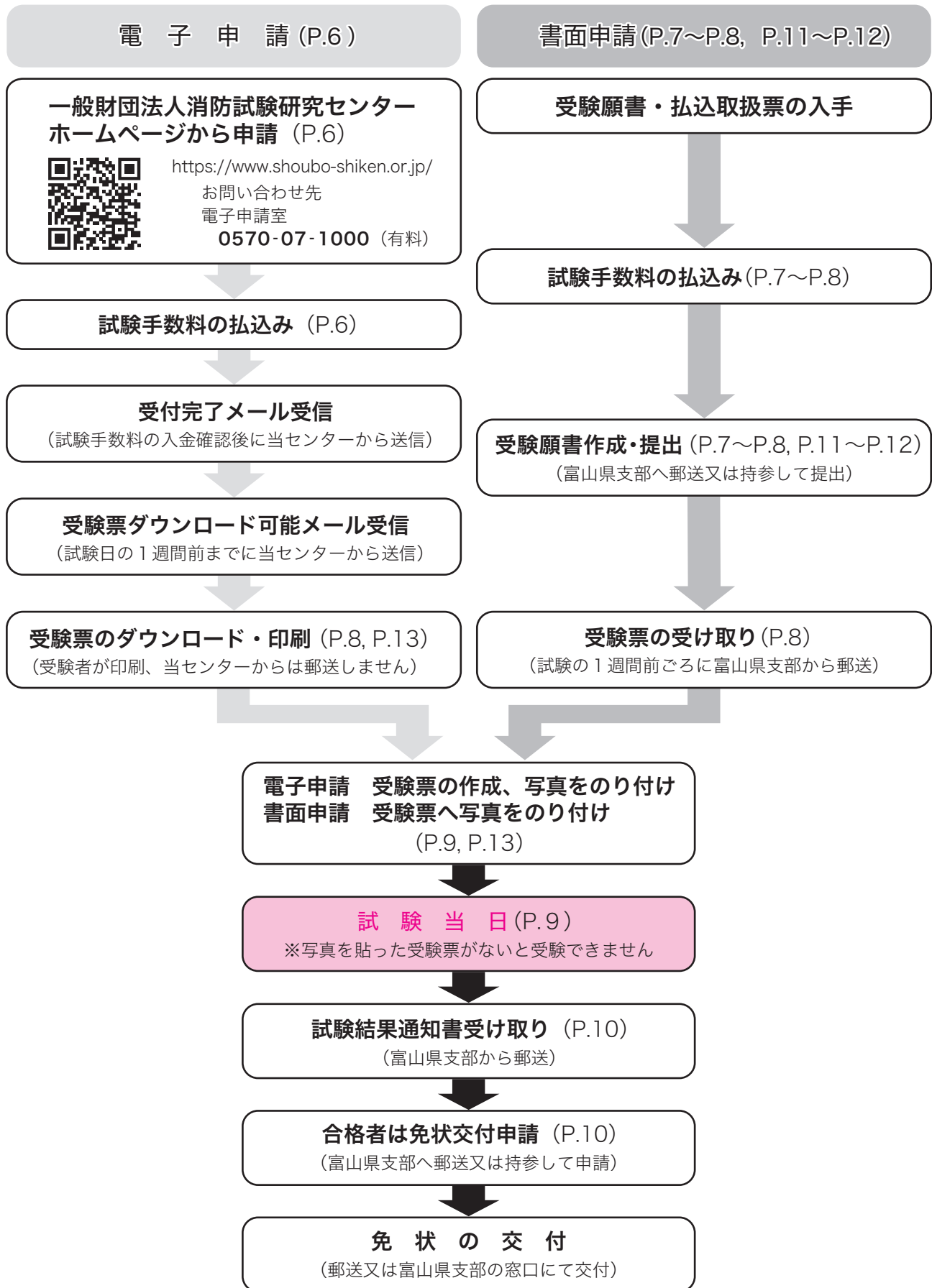
## ◆試験の日時、会場、種類及び受付期間

回	試験日	開始時間	試験種類	受験地	試験会場	受付期間			
						書面申請	電子申請		
第1回	6月6日(土)	9:30	甲種	富山市	富山国際会議場 (富山市大手町1-2)	4月20日 (月)	4月20日 (月) 9:00		
		13:30	乙種第1, 2, 3, 5, 6類 丙種						
	6月7日(日)	10:00	乙種第4類			高岡市	高岡商ビル (高岡市丸の内1-40)	}	}
		13:30							
6月21日(日)	10:00	乙種第4類	魚津市	ありそドーム (魚津市北鬼江2898-3)	4月28日 (火)	4月28日 (火) 23:59			
	13:30	甲種・丙種 乙種第1~6類							
6月28日(日)	10:00	乙種第4類	高岡市	高岡商ビル (高岡市丸の内1-40)	8月24日 (月)	8月24日 (月) 9:00			
	13:30	甲種・丙種 乙種第1~6類							
第2回	10月10日(土)	10:00	乙種第4類	富山市	富山国際会議場 (富山市大手町1-2)	}	}		
		13:30	甲種・丙種 乙種第1~6類						
	10月17日(土)	9:30	甲種			高岡市	高岡商ビル (高岡市丸の内1-40)	9月1日 (火)	9月1日 (火) 23:59
		13:30	乙種第1, 2, 3, 5, 6類 丙種						
10月18日(日)	10:00	乙種第4類	魚津市	ありそドーム (魚津市北鬼江2898-3)	}	}			
	13:30								
10月24日(土)	10:00	乙種第4類	高岡市	高岡商ビル (高岡市丸の内1-40)	12月8日 (火)	12月8日 (火) 9:00			
	13:30	甲種・丙種 乙種第1~6類							
第3回	令和9年 2月7日(日)	10:00	乙種第4類	富山市	富山国際会議場 (富山市大手町1-2)	}	}		
		13:30	甲種・丙種 乙種第1~6類						
	令和9年 2月13日(土)	9:30	甲種			高岡市	高岡商ビル (高岡市丸の内1-40)	12月16日 (水)	12月16日 (水) 23:59
		13:30	乙種第1, 2, 3, 5, 6類 丙種						
令和9年 2月14日(日)	10:00	乙種第4類	魚津市	ありそドーム (魚津市北鬼江2898-3)	}	}			
	13:30								

- (注) 1. 受験願書の受験地欄には、上表網掛け太枠部分の **受験地** を記入してください。
2. 乙種第4類の試験は、受験者数により、午前と午後に分割して実施しますが、午前・午後の試験時間帯は当支部が指定（受験票に記載）し、受験者本人が選択することはできません。
3. 試験会場の収容人員等の関係により、会場、時間等を変更する場合がありますので、ご了承願います。
4. 電子申請は、受付期間中24時間受付可能です。ただし、毎週土曜日の午前1時～午前5時は、システムメンテナンスのため、受付を中止しています。

## 受験手続から合格後の免状交付申請手続までの流れ

(受験申請方法は、電子申請と書面申請の2通り)



●電子申請は申請の受付完了以降、書面申請は受付締切日以降は、「試験日」・「試験の種類」等、**申請した内容の変更及び取り消し**はできません。

## 1 試験手数料

試験手数料（消費税非課税）は下表のとおりです。

払込み方法は電子申請と書面申請で異なります。詳しくは「5 電子申請の方法」（P.6）又は「6 書面申請の方法」（P.7～P.8）をご確認ください。

なお、一旦払込みされた試験手数料は、お返しできません。

甲 種	乙 種	丙 種
7,200円	5,300円	4,200円

## 2 免状の種類と取り扱うことができる危険物

危険物取扱者免状には甲種、乙種及び丙種の3種類があります。甲種・乙種は取扱作業及びその立会い、丙種は乙種第4類危険物のうち指定された危険物に限り取扱作業をすることができます。

免状の種類		取り扱うことのできる危険物	
甲 種		すべての種類の危険物	
乙 種	第1類	酸化性固体	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類 等
	第2類	可燃性固体	硫化リン、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウム 等
	第3類	自然発火性物質 及び禁水性物質	カリウム、アルキルアルミニウム、黄りん 等
	第4類	引火性液体	ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類 等
	第5類	自己反応性物質	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物 等
	第6類	酸化性液体	過塩素酸、過酸化水素、硝酸 等
丙 種		引火性液体	ガソリン、灯油、軽油、重油 等

## 3 試験種類、試験科目、問題数及び試験時間

試験種類	試験科目（ ）は略称	問題数	合計	試験時間
甲種危険物 取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	15問	45問	2時間 30分
	② 物理学及び化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	20問		
乙種危険物 取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	15問	35問	2時間
	② 基礎的な物理学及び基礎的な化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		
丙種危険物 取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	10問	25問	1時間 15分
	② 燃焼及び消火に関する基礎知識（燃消）	5問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		

甲種及び乙種の試験は五肢択一式、丙種の試験は四肢択一式（マークシート方式）の筆記試験です。

## 4 受験資格等

### (1) 甲種危険物取扱者試験

受験資格は、下表のとおりです。

全てコピー可

資格者	大学等及び資格詳細	甲種受験資格備 記入略称	証明書類
① 大学等において化学に関する学科等を卒業した方（専門職大学の前期課程を修了した方） (P.14の別表1参照)	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校（備考1）	大学等卒	卒業証明書 又は 卒業証書・学位記 (学科等の名称が明記されているもの)
	大学・短期大学・高等専門学校の専攻科		
	高等学校・中等教育学校の専攻科（備考2）		
	防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等 専門職大学の前期課程を修了		
② 大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した方 (P.14~P.15の別表2参照)	大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、大学院、専門職大学院、専修学校（備考1）	通算可	単位修得証明書 (書式例2参照) 又は 成績証明書 (修得単位が明記されているもの)
	高等専門学校の専門科目	15単位	
	大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等		
③ 乙種危険物取扱者免状を取得している方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方 ※証明日現在で基準を満たしていること	実務2年	乙種危険物取扱者免状及び 乙種危険物取扱実務経験証明書 (様式願書B面裏)
	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方 ○第3類（必須）○第1類又は第6類のどちらか1つ ○第5類（必須）○第2類又は第4類のどちらか1つ	4種類	乙種危険物取扱者免状
④ 修士・博士の学位を取得している方 (P.14の別表1参照)	修士、博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻した方（外国の同学位も含む）	学位	学位授与証明書等、 修了証明書 又は 学位記・終了証書 (専攻等の名称が明記されているもの)

書式例1 専修学校用受験資格証明書

○○第 号											
<b>甲種危険物取扱者試験受験資格証明書(専修学校用)</b>											
○○年 月 日 入学 ○○科○○コース											
○○年 月 日 修了											
氏名 ○○ ○○ 年 月 日生											
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号</td> </tr> <tr> <td>○○年 月 日 号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>課程の名称</td> <td>○○○○専門課程</td> </tr> <tr> <td>修業年限</td> <td>2 年</td> </tr> <tr> <td>課程の修了に必要な総授業時数</td> <td>1700時間</td> </tr> </table>		学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号		○○年 月 日 号		課程の名称	○○○○専門課程	修業年限	2 年	課程の修了に必要な総授業時数	1700時間
学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号											
○○年 月 日 号											
課程の名称	○○○○専門課程										
修業年限	2 年										
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間										
上記のとおり証明する。 令和 年 月 日 (専修学校の所在地) ○○専門学校 学校長 氏名 ○○ ○○印											

《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

書式例2 単位修得証明書

○○第 号																	
<b>単位修得証明書</b>																	
○○年 月 日 入学 ○○部 ○○科																	
○○年 月 日 修了																	
氏名 ○○ ○○ 年 月 日生																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>化学に関する科目名</th> <th>修得単位</th> <th>化学に関する科目名</th> <th>修得単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有機化学</td> <td>4</td> <td>高分子化学</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>無機化学</td> <td>4</td> <td>分析化学</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>燃烧工学</td> <td>3</td> <td>反応速度論</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		化学に関する科目名	修得単位	化学に関する科目名	修得単位	有機化学	4	高分子化学	2	無機化学	4	分析化学	2	燃烧工学	3	反応速度論	2
化学に関する科目名	修得単位	化学に関する科目名	修得単位														
有機化学	4	高分子化学	2														
無機化学	4	分析化学	2														
燃烧工学	3	反応速度論	2														
上記のとおり証明する。 令和 年 月 日 ○○大学 学長 氏名 ○○ ○○印																	

《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

《注》 学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

- (備考) 1 ①、②の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。(ただし、表の証明書類に次の(1)又は(2)の内容が記載されている場合は、次の(1)又は(2)の書面は不要です)
- (1) 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
  - (2) 専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面（書式例1参照）

- 2 ①の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が2年以上のものに限ります。
- 3 ②の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院、専門職大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず合算して算定することができます。放送大学も同様に算定できます。(P.4の書式例2参照)
- 4 ③の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書B面(裏)の様式を使用してください。(証明日現在で基準を満たしている必要があります。)
- 5 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業生及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問い合わせください。
- 6 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことがある方は、その時の「受験票(控)」又は「試験結果通知書」(資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。)を提出することにより、受験資格の証明書に代えることができます(コピー可)。
- 7 「願書資格欄記入略称」は、受験願書A面の「甲種受験資格」欄に記入するものです。電子申請の場合は候補から選択できます。

## (2) 乙種危険物取扱者試験

- ① 受験資格は必要ありません。
- ② 試験科目の免除

試験科目の免除については、下表のとおりです。既に乙種危険物取扱者免状を1種類でも取得している方は、試験科目の「法令」・「物化」の全部が免除になります。

また、第1類又は第5類の受験者で**火薬類免状を取得している方は申請により**、「物化」及び「性消」の一部が免除になります。免除資格がある方は、受験願書の科目免除欄に記入し、**免状のコピー**を提出してください(一部免除については、免除を受けた問題は点数加算されません。)

免除資格者	免除類別	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
乙種危険物取扱者免状を有する方	全類	① 法令	全部免除	0問	10問	35分
		② 物化	全部免除	0問		
		③ 性消		10問		
火薬類免状を有する科目の一部免除申請者	第1類 第5類	① 法令		15問	24問	1時間30分
		② 物化	一部免除	4問		
		③ 性消	一部免除	5問		
乙種危険物取扱者免状を有し、かつ、火薬類免状を有する科目免除申請者	第1類 第5類	① 法令	全部免除	0問	5問	35分
		② 物化	全部免除	0問		
		③ 性消	一部免除	5問		

備考 ① 火薬類免状とは、次の免状を意味します。

- ◇ 甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状(火薬類取締法)
- ◇ 甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状(火薬類取締法)

② **乙種危険物取扱者免状を取得している方**(危険物取扱者免状・火薬類免状の両方を取得している方を含む。)が**複数(2種類)受験する場合の試験時間は1時間10分**です。

## (3) 丙種危険物取扱者試験

- ① 受験資格は、必要ありません。
- ② 試験科目の免除

試験科目の免除については、下表のとおりです。免除資格者に該当し、**免除を希望される方は、次の2種類の証明書類を提出**してください。

- ① 消防団員歴を証明する書類(消防団長等が証明するもの。コピー可)
- ② 消防学校の教育修了証の写し(消防学校長が証明するもの)

免除資格者	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	① 法令		10問	20問	1時間00分
	② 燃焼	全部免除	0問		
	③ 性消		10問		

## 5 電子申請の方法

### (1) 申請方法

(一財) 消防試験研究センターホームページから申請してください。

受付時間は、**受付開始日の9時00分から締切日の23時59分まで**となります。

(24時間対応。ただし、毎週土曜日午前1時～午前5時はシステムメンテナンスのため申請不可。)

証明書類が必要な試験を申し込むと、証明書類のデータファイルをアップロードするためのURLが記載されたメールが届きます。案内に沿ってアップロードしてください。



#### <電子申請のここがおすすめ！>

パソコンやスマートフォンから、24時間簡単に申請できるほか・・・

- ・ 受験資格を証明する書類が必要な場合（実務経験、卒業証明書など）
- ・ 科目免除を希望し、資格証明の書類が必要な場合（火薬類免状保有者など）
- ・ 同一試験日に複数の受験を申請する場合も申請できます。

### (2) 試験手数料の払込（決済）方法

払込（決済）方法は、次の4種類から選択できます。

手数料は申請者の負担となります。**一旦払込みされた手数料はお返しできません。**

決済方法	決済内容	手数料	領収書
ペイジー (Pay-easy)	情報リンク方式 オンライン方式	160円(税込) が別途発生	電子申請システム により発行可  (試験日翌日～ 試験日の翌年度末まで)
コンビニエンスストア 決済	セブン-イレブン ファミリーマート ローソン ミニストップ セイコーマート デイリーヤマザキ (一部店舗を除く。)		
クレジットカード決済	VISA マスターカード JCB アメリカンエクスプレス ダイナース		
スマホ決済	PayPay メルペイ		

#### ※ 主な留意事項 ※

以下の内容を必ず確認してください。

- ① **パソコンやスマートフォンを使ってインターネットに接続でき、当センターのホームページから受験票 (PDF) をダウンロードして自宅やコンビニ等のプリンター、複合機で印刷できること**
- ② 資格の証明書類等を添付する必要がある申請の場合は、**審査結果等を通知する当センターからのメールを必ず受信できるようにしておくこと**  
(証明書類に不備があった場合は差し戻ししますので、必ずメールを確認してください。)
- ③ 資格の証明書類等はPDF又はJPEG形式のファイルを準備すること
- ④ 既に危険物取扱者免状を取得している場合は、免状の記載事項に変更がないこと  
〔電子申請には、免状番号（免状の写真下に記載されている12桁の番号）の入力が必要です。  
免状番号のない古い免状をお持ちの方は電子申請できませんので、書面で申請してください。〕
- ⑤ 複数受験を希望する場合は、願書情報入力画面で必ず複数受験の追加申請を選ぶこと

詳しくは、(一財)消防試験研究センターホームページ「電子申請に関するQ&A」をご確認ください。

### 電子申請に関するお問い合わせ先

(一財)消防試験研究センター 電子申請室

**専用電話 (全国共通) 0570-07-1000 (有料)**

受付時間 9時00分～17時00分 (土日祝日、年末年始を除く。)

(一財)消防試験研究センターホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>



## 6 書面申請の方法

### (1) 申請に必要な書類

提出書類	留意点
① 受験願書	受験する種類（1種類につき1部）ごとに作成してください。また、同一日に乙種の複数受験を申請する場合は一緒に提出してください。 (P.11の記載例参照)
② 振替払込受付証明書(お客さま用) ※ 郵便局窓口で押印される日附印があるもの	当センター指定の「振替払込受付証明書(お客さま用) <b>※赤枠部分</b> 」を受験願書B面（表）の指定の欄にのり付けしてください。（P.8, P.12参照）
③ 危険物取扱者免状のコピー	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small; margin-right: 5px;">該当者のみ</div> <div> <p>既に危険物取扱者免状を1種類でも取得している方は、必ず受験願書B面（裏）の指定の欄にのり付けしてください。（P.12参照）</p> <p>甲種を受験される方は、受験資格を証明する書類の提出が必要です。（P.4参照）</p> <p>火薬類の免状を取得している方で、乙種第1類又は第5類の試験科目の一部免除を受ける方は、証明する免状のコピーの提出が必要です。（P.5(2)参照）</p> <p>丙種の試験科目免除を受ける方は、資格を証明する書類の提出が必要です。（P.5(3)参照）</p> </div> </div>
④ 甲種受験資格を証明する書類	
⑤ 火薬類免状のコピー	
⑥ 消防団員歴を証明する書類（コピー可）及び消防学校の教育修了証の写し	

### (2) 試験手数料の払込（決済）方法

払込（決済）方法は、次の5種類から選択できます。

手数料は申請者の負担となります。**一旦払込みされた手数料はお返しできません。**

払込（決済）方法	決済内容	手数料	領収書
郵便取扱振込票		日本郵便(株)の定める手数料	
2次元コード経由	ペイジー (Pay-easy)	情報リンク方式 オンライン方式	電子申請システムにより発行可  (試験日翌日～試験日の翌年度末まで)
	コンビニエンスストア決済	セブン-イレブン ファミリーマート ローソン ミニストップ セイコーマート デイリーヤマザキ（一部店舗を除く。）	
	クレジットカード決済	VISA マスターカード JCB アメリカンエクスプレス ダイナース	
	スマホ決済	PayPay メルペイ	
		160円(税込)が別途発生	

### (3) 支払い方法

次のア、イいずれかの支払い方法をご選択ください。

#### ア 郵便取扱振込票での支払い方法

- ① 受験願書に同封の「払込取扱票」の金額欄に受験する試験の種類に応じた試験手数料をご記入のうえ、郵便局又はゆうちょ銀行の**窓口でお支払い**ください。
- ② 郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で受領した「振替払込受付証明書(お客さま用)」**赤枠部分**を受験願書B面（表）の指定の欄に貼り付けてください。（P.8, P.12参照）

#### ※ 注意事項

- ・ **ATMでは払込まない**でください。
- ・ 本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」が貼り付けられている場合の申請は無効です。上記の場合、改めて「振替払込受付証明書(お客さま用)」**赤枠部分**を提出していただく必要があります。
- ・ 払込取扱票の「振替払込受付証明書(お客さま用)」**赤枠部分**に日附印が押印されていないと**受験申請できません**。
- ・ **富山県支部窓口での払込みはできません**。

**【払込取扱票】**（必ず当センター指定の払込取扱票を使用してください。）

この部分では受験申請できません。受験者本人控えになりますので、大切に保管してください。

必ず郵便局の日附印を確認してください。※ 日附印がないものは無効

赤枠部分「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書B面（表）に貼り付けてください。

受験する試験の種類に応じた払込金額をご自身で記入してください。  
 【危険物取扱者】  
 甲種……¥7,200  
 乙種……¥5,300  
 丙種……¥4,200  
 ※ 金額を訂正したものは無効

**イ 2次元コード経由での支払い方法**

- ① 願書の項目を全て記載のうえ、願書二枚目B面（表）左下に印刷されている2次元コードから支払いサイトに入り、画面遷移に従ってお支払いください。
- ② **電子決済後、決済完了メール文中に記載してある18桁の「決済完了番号」を必ず受験願書B面（表）左下に記入してください。**（P.12参照）

※ 願書に印刷されている2次元コードは願書ごとに異なります。2次元コード経由で決済エラー等のため支払いでなかった場合は、多重決済防止のため同じ2次元コードを利用することができません。この場合、現在の願書を破棄し新しい願書にて決済するか、引き続き現在の願書を使用したい場合、前ページ、ア記載の郵便取扱振込票での支払い方法により支払いをしてください。

**(4) 受験願書等の提出方法**

- ・ 受験願書は富山県支部へ**郵送**又は**持参**で提出してください。
- ・ 郵送する場合は、「**簡易書留郵便（受付最終日の消印有効）**」で送付してください。  
 ※ 普通郵便での不着の場合、当センターは一切責任を負いませんのでご了承ください。

受付時間	所在地
9時00分～17時00分 (土日祝日、年末年始を除く。)	〒939-8201 富山市花園町4-5-20 (富山県防災センター2F) (一財) 消防試験研究センター 富山県支部 宛

**(5) その他**

受付期間外に提出された受験願書及び記載事項等に不備のある受験願書は受理できません。この場合、提出された受験申請書類を返却します（返却費用は本人負担になります。）。

**7 受験票及び写真について**

- (1) 受験票に記載されている試験日、集合時刻、試験開始時刻、試験会場等を必ずご確認ください。  
 なお、**指定された試験日及び試験時間の変更はできません。**
- (2) 受験票（控）は、合格発表の確認に必要です。また、甲種を再受験される方は、資格の証明に代えることができますので、大切に保管してください。

受験票の送付（印刷）	電子申請	試験日の1週間前までに「受験票ダウンロード可能メール」を送信します。このメールには <b>受験票は添付していませんので、受験票は当センターホームページの電子申請トップページからダウンロードし、印刷してください。（複数受験者は、受験種類ごとに印刷してください。）</b> <b>当センターから受験票は郵送しません。</b> 何らかの理由により当センターからのメールが届かない場合でも、受験票のダウンロードは可能です。受験票をダウンロードする際に入力する「電子申請受付番号」が不明な場合は、「電子申請状況確認」画面で確認してください。なお、それ以外のお問い合わせについては <b>電子申請室（0570-07-1000）へ連絡</b> してください（土日祝日、年末年始を除く9時00分～17時00分）。
	書面申請	試験日の1週間前までに郵送します。 <b>（複数受験者は2通届きます。）</b> <b>受験票が届かない場合又は受験票を紛失した場合は、</b> 試験日の前日（9時00分～17時00分（土日祝日、年末年始を除く。））までに <b>富山県支部（076-491-5565）へ連絡</b> してください。

(3) 写真について（電子申請、書面申請共通）

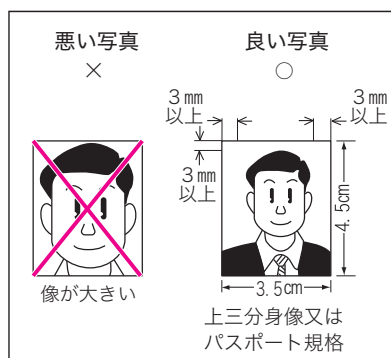
写真は、本人確認及び合格後の**免状の写真に使用**します。以下の条件を満たす写真を剥がれないように受験票（複数枚ある方は全ての受験票）に貼付してください。（セロハンテープ不可）

写真が剥がれた際の確認のため、裏面に氏名、年齢、撮影年月日を記入してください。

（写真に字が浮き上がらない程度の筆圧で記入すること）

写真の条件

写真サイズ	・縦4.5cm×横3.5cmの大きさ（パスポートサイズ）
人物サイズ	・正面、上三分身像（胸から上、顔の大きさが適正なもの） ・顔の上部・両サイドの余白の間隔は最低でも3mm以上あけること ・顔に影がかかっていないもの
撮影時期	・受験日前6ヶ月以内に撮影
背景等	・無背景、本人のみが写されたもの（カラー・白黒のどちらも可） ・背景と頭髪の色が同系色でないもの ・無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く）
品質	・デジタルカメラ、スマートフォン等で撮影した写真は、従来の証明写真と同程度以上の高画質で写真専用紙に印刷し、にじみ等のない鮮明なものに限ります。



不適切写真例 次あげるものは、合格後に写真の再提出をしていただきます。

写真サイズ	・サイズが適正でないもの
人物サイズ	・顔の大きさが、過大・過小のもの ・メガネのフレームやレンズの照射による反射、頭髪で目が隠れているもの ・イヤホン、サングラス、マスクを着用したもの
品質等	・不鮮明なもの（画質が悪いと判断したもの）、画像処理（加工修正）を施したもの ・普通紙に印刷、写真のコピー、表面にキズ・汚れ・凹凸・擦れ等のあるもの ・背景に本人以外が写っているもの（背景の壁、カーテン等が人物判断の妨げとなっているものを含む。）

## 8 試験当日の注意事項

- 1) 受験票を持参してください。受験票がない場合、受験票に貼付する写真をお持ちでない場合は、受験できません。（試験会場には写真を撮影できる機械はありません。）
- 2) 鉛筆又はシャープペンシル（HB又はB）とプラスチック消しゴムを持参してください。（ボールペンは不可）
- 3) 受験票に記載されている試験日、集合時刻、試験開始時刻、試験会場等を必ずご確認のうえ、**集合時刻までに着席**してください。試験開始前に受験上の留意事項を説明します。
- 4) 参考書、法令集等の参照は一切できません。
- 5) 試験室内では、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまい、**試験室を退室するまで電源を入れないでください。**  
また、これらの**電子機器類を時計として使用することはできません。**
- 6) 試験室内は写真撮影禁止です。
- 7) 試験会場によっては、試験室に時計がない場合がありますので、自身で用意してください。（腕時計など卓上に置ける大きさのもので、操作せずに時刻を表示でき、音を出さないものに限る。）
- 8) 不正行為は失格とします。また、試験監督員等の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とすることがあります。
- 9) 試験問題集及び解答カードを持ち帰ることはできません。
- 10) 本人確認のため、身分証明書（運転免許証、学生証等）の提示をお願いすることがあります。
- 11) 試験会場にはごみ箱がありませんので、**ごみは各自でお持ち帰り**ください。
- 12) 試験会場では感染症対策にご協力をお願いします。また、会場内での会話はお控えください。
- 13) 自然災害その他の事故等により、会場や日程の変更等、緊急のお知らせがある場合は当センターホームページに掲示します。

## 9 複数種類の受験

- 1) 複数受験（同一試験時間帯に2種類の試験を受験する場合）  
既に乙種危険物取扱者免状を有する方は、同一時間帯に他の乙種（第4類を除く）の試験を**2種類まで**同時に受験することができます。
- 2) 併願受験（試験日または試験時間が異なる試験を受験する場合）  
同一受付期間で、試験日または試験時間が異なる場合。（**乙種第4類は同一試験日の併願はできません。**）

※ 電子申請の場合は、願書情報入力の際に、「複数または同日併願の追加申請」の項目で、必ず追加申請する内容を選択してください。（試験日が異なる場合は、試験日ごとに申請してください。）

※ 書面申請の場合は、試験の種類（乙種は類）ごとに試験手数料を払い込みのうえ、**それぞれの受験願書を作成し、一つの封筒にまとめて提出**してください。

## 10 合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験ともに、試験科目ごとの成績が、それぞれ60%以上であること。  
(試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く。)

なお、乙種第1類又は第5類の受験者であって、試験科目の一部が免除された方については、免除された以外の問題で上記の成績であること。

## 11 合格発表

- (1) 合格発表は、試験日より約3週間後を予定しています。
- (2) 合格者については、公示日の正午に当センターのホームページ上に掲示するとともに、支部事務所（富山県防災センター1階玄関前）に、合格者の受験番号を公示します。また、受験者全員に結果通知書を郵送します。  
なお、試験結果の合否に関する電話による問い合わせ、試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。
- (3) 試験会場外での業者による試験結果通知の有料サービスは、当センターとは一切関係ありません。

## 12 合格後の免状交付申請の手続き

- (1) 申請の方法  
合格された方は、指定された日（試験結果通知書に記載）までに、次の書類等を富山県支部事務所へ郵送または持参してください。（簡易書留郵便で受付最終日の消印分までは、交付予定日の交付となります）
  - (2) 提出する書類等
    - ① 免状交付申請書および結果通知書（ハガキは切り離さないでください）
      - ・記載事項に誤りがないか確認し、誤りがある場合は、必ず赤字で訂正してください。
      - ・申請日、申請者氏名（受験者名）、電話番号（日中連絡のつく番号）を必ず記入してください。
    - ② 交付手数料（1種類につき2,900円）
      - ・ハガキ裏面のバーコードを富山県の手数料収納窓口で提示し、手数料を支払ってください。  
納付済証（レシート・「申請書等に貼付け」と印字されたもの）をハガキ裏面の指定箇所に貼付けてください。
      - ・手数料収納窓口は、県内各警察署・県庁売店・運転免許更新センター等です。  
詳細は富山県出納課ホームページで確認してください。
      - ・富山県支部事務所では手数料の支払いはできません。また、現金書留郵便での受付も行っていません。
      - ・県外在住等、手数料収納窓口へ行くことが困難な方の手数料の納付方法については、富山県危機管理局消防課にお問い合わせください。電話番号076-444-4589
      - ・納付方法の詳細については、富山県危機管理局消防課ホームページをご覧ください。
    - ③ 免状送付用封筒（新規免状郵送用）
      - ・新しく交付された免状を郵送するための封筒です。
      - ・定型サイズ封筒に送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入し、460円分（簡易書留郵便料 令和8年4月1日現在）の切手を貼り、封筒裏面右下に受験番号を記入してください。
      - ・簡易書留郵便で発送しますので、不在の場合は不在票が入ります。再配達の手続きを必ず行ってください。郵便局での保管期間（約1週間）が過ぎると富山県支部事務所へ返送されますのでご注意ください。
      - ・複数種類申請の方は、1通の封筒に合格の受験番号を全て記入してください。
      - ・窓口で免状を受け取る場合、必ず申請時にお申し出ください。封筒は不要です。
    - ④ 既得免状
      - ・合格した種類の交付内容は、新しい免状に併記します。既に危険物取扱者免状の交付を受けている方は、お持ちの免状を提出してください。提出されないと新免状の交付はできません。
      - ・既得免状を紛失等された方は、既得免状の再交付申請（手数料1,900円）が必要となります。
      - ・氏名、本籍に変更のある方は、別途書換申請が必要です。  
再交付、変更による書換の手続きが完了しないと、新しい免状の交付はできません。
      - ・タンクローリーの運転手等、免状の携帯義務がある仕事に従事している方は、ご連絡ください。
- ※ 免状交付申請期間内に申請されなかった場合、試験結果通知書に記載されている免状交付日には免状は交付されません。期限を過ぎてからの免状交付日についてはお問い合わせください。  
試験日から6ヶ月以上経過後に申請する場合、新しく撮影された写真（撮影後6ヶ月以内の写真）1枚が必要になります。





# 受験願書B面（2枚目）の記入例

## 注意事項

- 1 郵便取扱振込票で試験手数料払込みの際に郵便局又はゆうちょ銀行の窓口（ATMでの払込みは不可）で受領した「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書B面（表）の指定の欄に貼り付けてください。
- 2 本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」では、受験申請できません。
- 3 「振替払込受付証明書（お客さま用）」を紛失、汚損等により受験願書に貼り付けられない場合、当センターでは責任を負えません。その場合は、再度払込みのうえ、新たな受験願書に貼り付けてください。

## 受験願書B面（表）

**◎払込用紙で払込みの場合**

ここに「振替払込受付証明書」をはってください。

**◎2次元コード経由で払込みの場合**

下記の2次元コードで手数料の払込みができます。

利用できる決済手段：クレジットカード、コンビニエンスストア、PayPay、メルペイ

決済完了番号（18桁）

00000000000000000000

0108001

【郵便取扱振込票でお支払いの場合】  
振込取扱票の赤枠部分「振替払込受付証明書（お客さま用）」を貼り付けてください。

振替払込請求書兼受領証

消防試験研究センター

消防太郎

076-491-5565

0000 8.4.21 000

貼つてください

必ず郵便局の日附印を確認してください。  
※ 日附印がないものは無効

【2次元コード経由でお支払いの場合】  
電子決済後、決済完了メール文中にある18桁の「決済完了番号」を記入してください。

## 受験願書B面（裏）

各種証明書

この部分にのりづけ  
なお、この部分に「振替払込受付証明書」

都道府県等コード

北海道01	福島07	長野13	山梨19	徳島25
青森02	茨城08	埼玉14	長野20	香川26
岩手03	栃木09	群馬15	大分21	高松27
宮城04	群馬10	富山16	徳島22	兵庫28
秋田05	埼玉11	石川17	愛知23	奈良29
山形06	千葉12	福井18	三重24	和歌山30

乙種危険物取扱者実務経歴証明書

氏名 消防太郎 平成3年2月12日生

取扱危険物 第5類 品名 有機過酸化物

取扱点 令和2年1月15日から 令和7年4月1日まで

期 限 (5年2月)

発給場所 製造所 取扱所

証明年月日 令和8年4月1日

事業所名 甲平石油(株)

証明者 代表取締役 甲平太郎

電話 03-3460-7799

既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄

裏

危険物取扱者免状

氏名 消防太郎

本年有効 平成3年2月12日 住所 富山県

取扱危険物 第5類 交付年月日 交付番号 交付場所

乙種1類

乙種2類

乙種3類

乙種4類 001 09.20 00007 富山

乙種5類

乙種6類

富山の都民は 2029年 9月30日まで 1164 1234 5678

各種証明書等をこの部分にのり付けてください。

危険物製造所等における実務経歴2年以上で、甲種を受験する方のみ必要です。

証明日現在で基準を満たしている必要があります。

事業所（会社等）の印

証明者の役職印又は印

※両方必要

危険物取扱者免状を取得している方はコピーを貼ってください（裏面に記載事項のある場合は、裏面のコピーも貼付）。

## 【電子申請者用の受験票】

(試験日の1週間前までに受験票をダウンロードできる旨のメールを送信します。)

※試験日までで作成して持参下さい。

(試験当日持参用)

切り離す

(本人控え用)

### 注意事項

- 次の場合は受験することができません。
  - (1) 受験票がない場合
  - (2) 受験票に写真を貼っていない場合
  - (3) 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
- 受験票に記載している集合時間までに入室してください。
- 受験票、鉛筆(B又はHB)、消しゴムを持参してください。
- 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。
- 不正行為及び係員の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とします。
- 本人確認のため、身分証明書(運転免許証等)の提示をお願いします。
- 電話による各々の問い合わせには、応じられません。
- 試験会場外での特定業者による試験情報提供の有料サービスは当センターと一切関係ありませんので、ご注意ください。
- 試験日時を変更する場合は、当センターのホームページに緊急情報又は重要なお知らせとして掲載します。特に、異常発生する特別警報等の防災情報に対して延期等する場合の緊急情報は、試験開始時間の2週間前までに掲載します。
- 試験会場は全面禁煙です。
- 車、バイク、自転車での来場はご遠慮ください。
- 各務後の処理

(一財)消防試験研究センター 富山県支部  
〒939-8201 富 076-491-5565  
富山県富山市花園町4-5-20  
富山防災センター2F

### 危険物取扱者試験 受験票

写真  
縦4.5cm×横3.5cm  
写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載し、右向きに撮影したもの(正面、横顔(左取又は右取)上の両面がある場合は除く。)、無裁断、上3分角角、しっかりとのり付けてください。(セロハンテープ不可)

受験番号 E1-0001 試験の種類 乙種第4類  
かたかな名 ショウタウ タロウ  
氏名 消防 太郎  
試験日時 令和00年00月00日 [1/2] 時 分集合 時 分試験開始  
試験会場 ○○○試験会場 ○○県○○市○○町1-1-1  
(試験室) 001番室  
免除科目 免除科目なし 資格判定コード 01  
既得免状  
受験者 消防 太郎

1316021211101E200579 免なし  
001-06-0901 60002  
試験当日、この受験票は回収します。

### 危険物取扱者試験 受験票 (控)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
かたかな名	ショウタウ タロウ		
氏名	消防 太郎		
試験日時	令和00年00月00日 [1/2]	時 分集合	時 分試験開始
試験会場	○○○試験会場 ○○県○○市○○町1-1-1		
(試験室)	001番室		
免除科目	免除科目なし		
資格判定	コード 01		
既得免状			
受験者	消防 太郎		

注: 応募内容が確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。受験票の住所を必ずご確認ください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。次の場合は受験することができません。

- 受験票がない場合
- 受験票に写真を貼っていない場合
- 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合

この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要なもので、大切に保管してください。

写真をのりで貼ってください。(セロハンテープ不可)

住民票(危険物取扱者免状を取得している方は免状に記載)の氏名を記入してください。

背中合わせ(山折り)にして、のり付けてください

※ ご自身でA4の用紙に印刷してください。当センターからは郵送しません。なお、印刷する際に拡大・縮小して印刷しないでください。

※ 複数受験者は、受験種類ごとに印刷してください。

印字されている住所を確認してください。試験結果通知書は、記載されている住所に郵送されます。

## 【書面申請者用の受験票】(試験日の1週間前までに郵送します。)

写真をのりで貼ってください。(セロハンテープ不可)

### 危険物取扱者試験 受験票 (控)

複数受験者座席番号(1234)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
かたかな名	ショウタウ タロウ		
氏名	消防 太郎		
試験日時	令和00年00月00日 [1/2]	時 分集合	時 分試験開始
試験会場	○○○試験会場 ○○県○○市○○町1-1-1		
(試験室)	001番室		
免除科目	免除科目なし		
資格判定	コード 01		
既得免状			
受験者	消防 太郎		

999-9999  
○○県○○市○○町  
1-23-45  
消防 太郎 様

**受験票**  
(一財)消防試験研究センター 富山県支部  
〒939-8201 富山県富山市花園町4-5-20  
富山防災センター2F  
Tel. 076-491-5565

### 危険物取扱者試験 受験票

写真  
縦4.5cm×横3.5cm  
写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載し、右向きに撮影したもの(正面、横顔(左取又は右取)上の両面がある場合は除く。)、無裁断、上3分角角、しっかりとのり付けてください。(セロハンテープ不可)

複数受験者座席番号(1234)

受験番号 E1-0001 試験の種類 乙種第4類  
かたかな名 ショウタウ タロウ  
氏名 消防 太郎  
試験日時 令和00年00月00日 [1/2] 時 分集合 時 分試験開始  
試験会場 ○○○試験会場 ○○県○○市○○町1-1-1  
(試験室) 001番室  
免除科目 免除科目なし 資格判定コード 01  
既得免状  
受験者 消防 太郎

1316021211101E200544 免なし  
001-06-0901 04603  
試験当日、この受験票は回収します。

### 危険物取扱者試験 受験票 (控)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
かたかな名	ショウタウ タロウ		
氏名	消防 太郎		
試験日時	令和00年00月00日 [1/2]	時 分集合	時 分試験開始
試験会場	○○○試験会場 ○○県○○市○○町1-1-1		
(試験室)	001番室		
免除科目	免除科目なし		
資格判定	コード 01		
既得免状			
受験者	消防 太郎		

注: 応募内容が確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。受験票の住所を必ずご確認ください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。次の場合は受験することができません。

- 受験票がない場合
- 受験票に写真を貼っていない場合
- 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合

この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要なもので、大切に保管してください。

複数受験者の方は「複数受験者の座席番号」が記載されます。

住民票(危険物取扱者免状を取得している方は免状に記載)の氏名を記入してください。

(本人控え用)

(試験当日持参用)

切り離す

別表 1

## 化学に関する学科等の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程  
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称							
ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科
イ	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科
エ	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科
	応用生物工学科	サ	材料開発工学科		生物機能工学科		物質分子学科
	応用生命科学科		材料科学科		生物工学科		物質理工学科
	応用生命工学科		材料科学工学科		生物資源科学科		プロセス工学科
	応用微生物工学科		材料加工工学科		生物資源利用学科		分子工学科
カ	環境生命科学科		材料学科		生物生産科学科		分子システム工学科
	環境物質工学科		材料機能工学科		生物分子科学科		分子生物学科
	環境マテリアル学科		材料工学科		生物薬学科		分子生命科学科
キ	基礎理学科		材料物性学科		精密素材工学科		分子素材工学科
	機能高分子学科		材料物性工学科		精密物質学科	マ	マテリアル科学科
	機能高分子工学科		材料プロセス工学科		生命理学科		マテリアル工学科
	機能材料工学科	シ	色染工芸学科		製薬学科	ム	無機材料工学科
	機能物質科学科		資源工学科		繊維工学科		冶金学科
	機能分子工学科		資源素材工学科		繊維高分子工学科	ヤ	冶金工学科
	金属加工工学科		システム量子工学科	ソ	総合薬学科		薬科学科
	金属学科		食品科学科		総合薬品科学科		薬学科
	金属工学科		食品学科		素材工学科		薬剤学科
	金属材料学科		食品工学科	ト	塗装科		薬品科学科
	金属材料工学科		食品工業科学科	ハ	醗酵(発酵)工学科	ユ	有機材料工学科
ケ	原子工学科		食料科学科		醗酵(発酵)生産学科	ヨ	窯業工学科
	原子力科		森林資源科学科			リ	林産学科
	原子力工学科	セ	製剤学科	フ	物質科学科		林産工学科
	原子炉工学科		製糸学科		物質科学工学科		
					物質工学科		

別表 2

## 化学の授業科目例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目  
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目

化学に関する学科又は課程等の名称							
ア	アモルファス物性工学	カ	化工流体工学	キ	金属の相変態	コ	抗生物質
	安全管理学		化石エネルギー		金属表面処理		厚生薬学
	安全工学		火薬学		金属物性		合成薬品製造学
	安全防災工学		ガラス工学	ケ	計算溶液特論		構造用金属材料
イ	移動現象論		ガラス材料		結晶回折		酵素利用学
	移動速度論		ガラス状態論		結晶材料工学		鋼中非金属介在物
	医薬品安全性学		ガラス物性		結晶評価工学		鉱物学
	医薬分子設計学		環境汚染物質分析学		原子エネルギー工学		高分子科学
	医用高分子機能学		環境物質工学		原子核工学		高分子学
エ	衛生工学		感光物性論		原子力工学		高分子工学
	衛生薬学		岩石学		原子炉材料学		高分子合成
	栄養学		官能基変換論		原子炉燃料		高分子構造
	エレクトロセラミックス	キ	機器分析	コ	高温材料		高分子固体構造論
	エレクトロニクス材料工学		機能高分子学		高温反応工学		高分子コロイド科学
オ	応化・プロセス工学		機能性高分子材料学		光学活性体合成論		高分子材料学
カ	回折結晶学		機能性材料工学		高機能材料特論		高分子反応論
	界面工学		機能性触媒工学		高機能材料プロセス特論		高分子物性論
	界面制御学		機能性有機材料		工業火薬学		固相変態論
	界面電子工学		機能セラミック論		工業材料		固体反応
	界面物性		凝固論及び結晶生成		工業排水処理		固体表面科学
	科学史		金相学		工業爆薬学		固体物性論
	核燃料工学		金属学		工業反応速度論		固体平衡論
	核燃料サイクル特論		金属加工学		工業微生物学		コロイド学
	核融合概論		金属工学	コ	工業分析		
	核融合工学概論		金属材料学		格子欠陥	サ	細胞培養学
	化工熱工学		金属材料工学		公衆衛生学		材料解析
	化工熱力学		金属製錬学		高重合反応		材料開発工学
	化工物理学		金属組織学		合成鉱物		材料科学
							材料加工学

化学に関する学科又は課程等の名称

サ	材料強度学 材料強度物性学 材料結晶学 材料工学 材料構造解析学 材料精製工学 材料精密工学 材料組織学 材料組織形成論 材料熱力学 材料反応学 材料物性学 材料物理工学 材料プロセス設計 錯塩基及び酸化還元 産業廃水処理	セ	製菓学 生理活性物質学 精練漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミックス概論 セラミックス材料工学 セラミックス電子材料 セラミックプロセスング セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論	ハ	培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵(発酵)学 醗酵(発酵)工学 醗酵(発酵)工業論 醗酵(発酵)生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論		分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学						
						ヘ	平衡論 平衡・反応論						
						ホ	放射線計測学 放射線物性計測学						
						マ	膜機能工学 マテリアル工学						
						ミ	水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論						
						ム	無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学						
						メ	免疫薬剤学						
						モ	木材化学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学工学 木質資源工学						
						ヤ	冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学						
						ユ	有機機器分析 有機機能性材料 有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性						
						ヨ	窯業工学 窯炉工学						
						リ	粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学						
						レ	レオロジー						
						ロ	農薬学						
						ハ	バイオテクノロジー バイオプロセス工学						
						シ	色彩工学 色染実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学 食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造繊維工学 新薬論	ソ	相平衡論 相変態論 素材工学	ヒ	非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学 表面分析 肥料学		
												フ	ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学 分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学
												タ	耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学
												チ	超高温材料 調剤学
テ	鉄鋼材料学 鉄鋼表面処理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製錬工学 電解反応 電気材料学 電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学												
ト	同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミックス 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学												
ニ	ニューセラミック特論												
ネ	燃烧学 燃烧工学 燃烧熱工学 燃烧物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃烧潤滑論 燃料燃烧論 燃料分析学												
ノ	農薬学												
ハ	バイオテクノロジー バイオプロセス工学												
ス	水質学	セ	製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学 生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物工学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学 精密有機合成特論	エ	培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵(発酵)学 醗酵(発酵)工学 醗酵(発酵)工業論 醗酵(発酵)生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論								
												ケ	有機機器分析 有機機能性材料 有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性
												コ	窯業工学 窯炉工学
												ク	粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学
												ケ	レオロジー
												コ	農薬学
												ク	バイオテクノロジー バイオプロセス工学
												ケ	バイオテクノロジー バイオプロセス工学
												コ	バイオテクノロジー バイオプロセス工学
						ク	バイオテクノロジー バイオプロセス工学						
						ケ	バイオテクノロジー バイオプロセス工学						
						コ	バイオテクノロジー バイオプロセス工学						
						ク	バイオテクノロジー バイオプロセス工学						
						ケ	バイオテクノロジー バイオプロセス工学						
						コ	バイオテクノロジー バイオプロセス工学						

## 個人情報の取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確かつ安全に取り扱います。

1 当センターが取り扱う個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名・学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、受験票への表示、結果通知書及び免状交付申請書、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的を達成するため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限し適切に取り扱います。

## 試験会場

受験地	会場名称・所在地	受験地	会場名称・所在地
富山市	富山国際会議場 富山市大手町1番2号 	高岡市	高岡商工ビル 高岡市丸の内1-40 
魚津市	 ありそドーム 魚津市北鬼江 2898-3		

※二次元コードを読み込んで地図を表示するには、Googleマップを表示できる環境が必要です。

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

※近隣商業施設などへの「無断駐車」は絶対にしないでください。

違法駐車、迷惑駐車は警察に通報される場合もあります。

駐車に関するトラブルについて、当センターは一切責任を負いません。

## お問い合わせ先



〒939-8201 富山市花園町4-5-20  
(富山県防災センター2F)

TEL 076-491-5565  
FAX 076-491-6000

## アクセス（地図）



〈富山県防災センター〉  
駅前バス乗り場⑥番から発車の  
山田・速星・八尾方面行きに乗車  
「西田地方2丁目」で下車

※二次元コードを読み込んで地図を表示するには、  
Googleマップを表示できる環境が必要です。

※ 一般財団法人 消防試験研究センターは、試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書等の出版は、一切行っておりません。